

頑張る企業を応援します！

中小企業応援団

愛知県信用保証協会 × 中部経済新聞



掲載日 2020年12月18日

株式会社アイワ工業

「配管工事とダブルウォールグラス、2本柱で成長へ」

配管加工や設置を手掛けるアイワ工業。父から事業を承継後「ダブルウォールグラス」に魅せられ事業化。その魅力と発展の礎である人材育成への思いから始めた「日本掃除大賞」への挑戦などを代表取締役 榎原和彦氏に語ってもらった。

Company Data

株式会社アイワ工業

代表取締役 榎原 和彦

住所 半田市大松町2丁目9番地の2

電話番号 0569-84-3516

URL <https://www.aiwa-ind.com/>

紹介金融機関 半田信用金庫



会社の歩み

事業承継は突然に

1970年に父・榎原清春が工場の配管加工や設置を手掛ける会社として起業しました。管工機材を顧客の設計に合わせて加工設置する、これは創業時から変わりません。三河地区の自動車関連企業との取引拡大に伴い、顧客に近い立地で配管加工が必要になり豊田市内に工場を建設しました。現在の主要な取引先は、自動車業界からゼネコン、インフラ関係まで多岐にわたります。

私は入社以来現場一筋でしたが、2015年に父から「これからおまえが社長をやれ」と言われました。突然、経営を任せられ、当時は相当悩みました。その中で自分なりの取り組みとして始めたのが「日本掃除大賞」への挑戦と、ダブルウォールグラスの事業化でした。

「日本掃除大賞」に挑戦

三度目の挑戦で「文部科学大臣賞」受賞

会社の信頼の礎は、技術はもちろん、社員の意識と行動により築かれていくと思っています。

技術面は、引退した父の指導のもと、日々スキルアップに努めています。また、良い行動習慣を身に付けてもらう社員教育の一環として、2017年に「日本掃除大賞」（主催：一般財団法人 日本そうじ協会）への挑戦を始めました。これは、全国の企業団体が「掃除道」を競うもので、初年度にいきなり「新人賞」をいただき、2019年には「文部科学大臣賞」を受賞するまでになりました。

挑戦を通じ、社員の意識と行動は変わりました。最初は工具の整理からでしたが、今では私が気づかないところまで気を回して対応できるまでに成長しました。社員の平均年齢は35歳。まだまだベテランには及ばないところも多いですが、日本掃除大賞への挑戦も続け、技術と心の両面で社員と会社を成長させていきたいです。



ダブルウォールグラスとの出会い

一目惚れで事業化

2016年、台湾に旅行したときにダブルウォールグラスと出会いました。外と内の二層のガラスで作られており、飲み物を入れると内側のガラスの形に注がれ、飲み物が浮いているように見えるグラスです。もともとガラスが好きだったこともあり、これは日本で売れると直感しました。現地の企業と独占契約を結び、翌年から輸入販売を始めました。

既製品でなく、自分で企画製造して輸入しており、特にキャラクターをかたどったものが人気です。ガラス素材でキャラクターの細部まで表現するのは難しいですが、精巧さにこだわり、業者と何度も打合せを重ね作り上げています。そのため、企画から試作製造まで半年ちかくかかることもあります。

現在は、大手セレクトショップや百貨店、ネット通販などで販売し、総売上の2割を占めるまでに成長しました。昨年は、地元ゆかりの「ごんぎつね」のデザインが半田市のふるさと納税の返礼品にも採用されました。今後も引き続き拡大させていく方針です。

ハンドメイドの趣、変幻自在のデザイン

ダブルウォールグラスの可能性は無限

ダブルウォールグラスの魅力は精巧な技術が生み出す美しさだけではありません。

飲料を注いだときにもう一つの顔を見せてくれるのも魅力です。

グラスの絵柄は飲み口を上にしてしまうとひっくり返って見えるようになっていきます。飲料を注ぐと頭の形に飲料が満たされ、キャラクターの造形が明らかになります。



白色のキャラクターの場合には牛乳を注ぐとイメージ通りの姿になりますが、他の色の飲料を注いで意外な組合せを楽しむというのもこのグラスならではの楽しみ方です。

SNS で「映える」ことも相まって、認知が広がっています。また、手作りの味と特別感から、企業の記念品や顧客プレゼントに採用されたこともあります。

コロナ禍でも顧客のために「今」できることを

新型コロナウイルスの影響で、台湾出張はもちろん、現場の動きも停滞しています。

こうした中、まず資金面を手当てして状況を静観し慎重に見極めつつ、さらなる飛躍のための足場固めに取り組んでいます。

管工事業では、日本掃除大賞で積み重ねた社員のスキルに磨きをかけ、顧客満足度向上に努めています。また、グラス事業では、ひとりでも多くのお客様に「笑顔」を届けられるよう、販路と商品ラインナップを拡充させています。管工とグラス、全く接点のない事業ですが、言葉と行動が伴う「知行合一」で顧客の信頼を得ることを第一に頑張っていきます。